

2024年4月17日

各 位

株式会社 安藤・間

## J R 東海道本線におけるのり面崩壊について

2024年3月12日に発生しました JR 東海道本線におけるのり面の崩壊について、調査の結果、隣接して施工していた弊社工事に起因して発生したことが確認されました。概要は下記のとおりでございます。

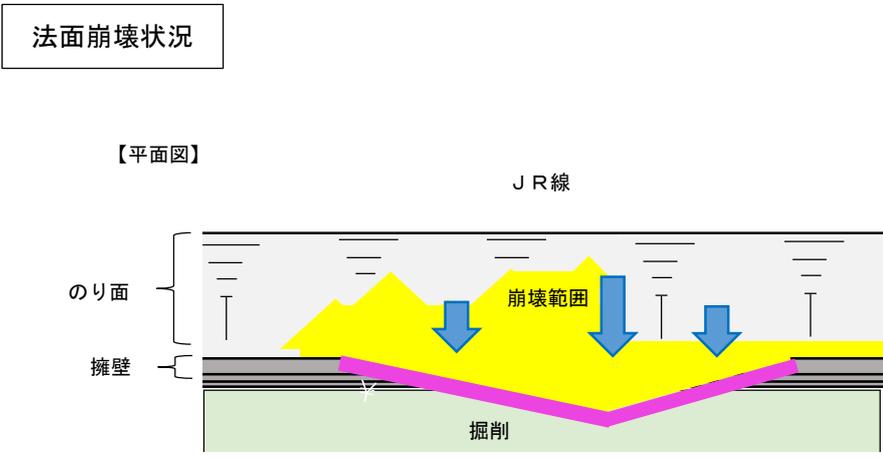
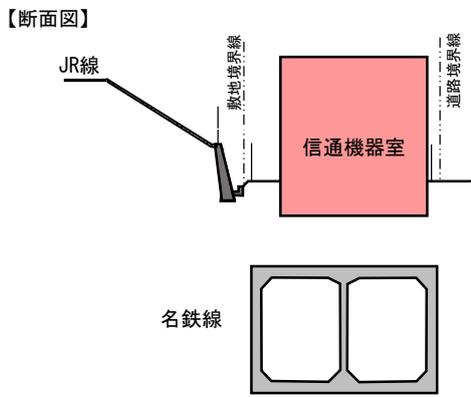
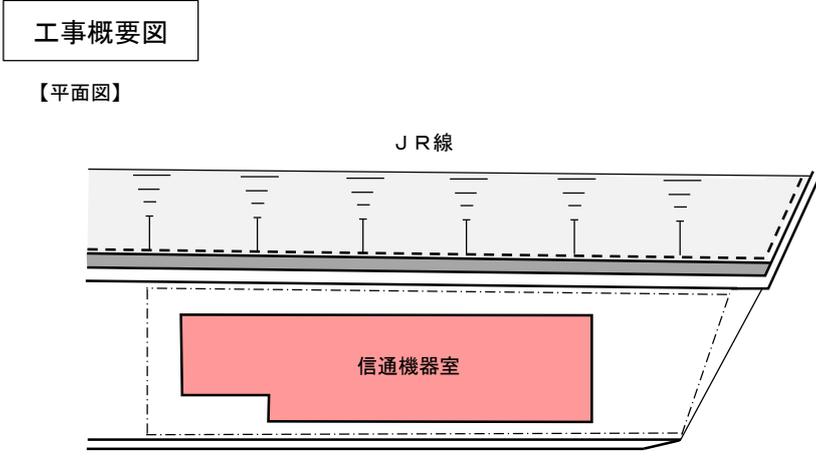
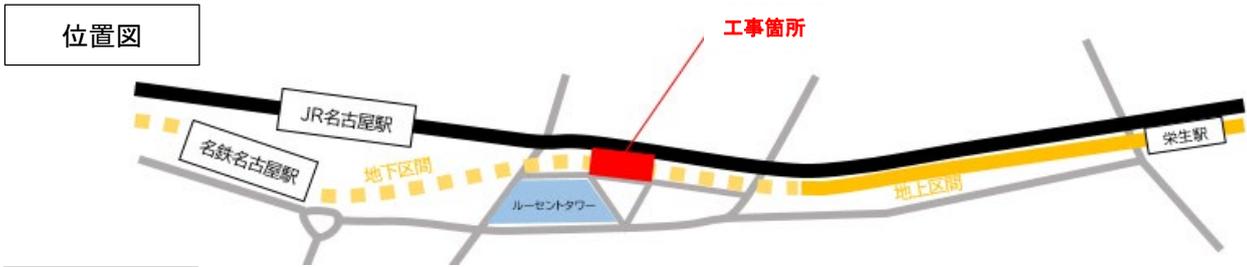
JR 東海道本線をご利用の皆様、ご関係の皆様並びに近隣の皆様方には、多大なるご迷惑・ご心配をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

### 記

1. 発生日時 2024年3月12日（火）15時32分頃
2. 発生場所 JR 東海道本線 名古屋駅～枇杷島駅間  
所在地：愛知県名古屋市西区牛島町 701
3. 概 況 3月12日（火）15時32分頃、JR 東海道本線名古屋駅～枇杷島駅間でのり面の崩壊が発生し、JR 東海道本線は名古屋駅～岐阜駅間で運転見合わせとなりました。その後、JR 係員の方により、安全の確認がなされたため、21時23分に運転再開となりました。
4. 工事内容 名古屋鉄道株式会社が発注する、名鉄名古屋駅付近の信号設備等の更新に伴う、列車運行に係る信号・通信関係の設備を制御する機器類を収める建物の新設工事を、弊社が受注し施工していました。
5. 原 因 当該工事における、JR 東海道本線の盛土擁壁に近接する箇所の掘削により、擁壁の安定性が低下し、のり面にひび割れが発生していたことが確認されました。さらに、当日の強い降雨により、擁壁背面の水圧が上昇し、盛土擁壁が工事現場側に押し出され、のり面の崩壊に至ったものと推定しております。  
事前に関係者と協議し工事を進めていましたが、掘削による隣接した盛土擁壁の変状防止対策等の検討が不足していました。
6. 再発防止策 今後、盛土に近接して掘削を行う場合には、事前に近接程度に応じた影響予測を十分に行い、影響度合いに応じた必要な対策の実施を徹底します。

以 上

# 【別紙】概要説明図



名鉄名古屋方から



のり面下から

